

市内活動グループ訪問記

ボクマシマ

活気めぐる「出張ミヤタ珈琲」さん



5月14日(金)午前

この時期は、相模原市緑区の中、相模原警察署前の西門「商店街」向かいました。閉店して



かわゆるい以勢絵のマグネット

ついでにお店もけいこいして、その一角にぎわっている場所があり、ドアを開けると若い人たちの賑やかな声に迎えられる、思わずビックリ。ここが今日の訪問先である出張ミヤタ珈琲さんが所属する「西門第三図工室」です。

管理者の有井慎さん、支配人の宮田貴文さん、職員の高永隆太さんにお話をうかがいました。

運営は「社会福祉法人アトリエ」。「西門第三図工室」のほか、橋本にある「はしもとアトリエ」や「コト」の2ヶ所で活動しています。西門は絵画や陶芸、3Dプリンターを用いた制作など、さまざま



出張ミヤタ珈琲の(左から)里村さん、田口さん、宮田さん

なものへの取り組める場所となっていて、橋本でも絵画を中心とした活動をしています。他にも特徴的なのが、事業所の利用者の好きなことで、得意なことを起点

した活動です。ありがとうございますと言われることが好きな人が始めた何でも屋の「不便利屋」、お菓子づくりが得意な人が始めた「ラッキークッキーカンパニー」など、それぞれを一つの仕事として実現。そして、カフェ店長をやってみた田口恵美さんをサポートする形で、県立相模原公園内の植物園カフェ「コーヒー」のドリップや接客を担当していただくのが、宮田さんと里村雄治さんです。ふたりは「出張ミヤタ珈琲」として市内各地に赴き、コーヒーを淹れるほか漫才も披露します。今は長引くコロナ禍なので、外に出ていく活動は自粛しているそうです。

図工室ではこの期間、将来につながる実績づくりを考えると、さまざまなコンテンツにも応募して成果も出ています。一歩踏み込んだクオリティの高いものに仕上げようという努力をしています。スタッフはパートを含めて8人在籍していて、利用者は12名。「出張ミヤタ珈琲」としてほかほかの雰囲気で参加して下さったことが縁ですが、この年ほどは思っていたような開催ではありませんでした。しかし今年度は更に工夫をして今までの違う「ほかほか」ができるのではないかと、ほかほか実行委員会でも検討中だそうです。

作業部屋には陶芸作品や多くの土偶が置かれているので、さまざまな作品が飾られています。急に賑やかになってお昼タイム。とても和やかな



漫才を披露する里村さん(左)と宮田さん

しい雰囲気です。一人一人の個性を活かして、一つ一つ仕事化する。10人いれば10通りの素晴らしい物ができるのです。複雑なことが多くて理解がむずかしいが楽しんでやっていると楽しいです。お互いのつながりで若者が入って活動を始めて、商店街にも活気も生まれてきているのだよ。

最後にお聞きしたのは、

「20人、20通りのやり方で作り出す」

「出来ることを引き出して社会に発信する」

「わからないことを楽しむ」

でした。私には難しすぎて分からないことばかりでしたが、ここにいる利用者さんスタッフの皆さんが生きてく生活力をみなぎらせていらっしゃるのを感じました。

宮田さんと里村さんに淹れていたいただいたコーヒーは、とても美味しかったです。ありがとうございました。(恒藤、植野)



図工室の田口恵美さんが制作した土偶



※ 出張ミヤタ珈琲 (西門第三図工室)  
相模原市中央区相模原6-24-6  
グリーンバザール西門内  
TEL・FAX 042-711-8019  
管理者 有井 慎